

名前 \_\_\_\_\_

**理科**

基本メニュー (☆☆☆) …必ずやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストで、「授業中に扱った演習問題」の復習用を解き直す	
② 宿題用テキストの基本問題 A・B を解く	
③ 週テストの見直し (間違えた問題の見直し)	

応用メニュー (☆☆) …基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題 A を解く	

発展メニュー (☆) …チャレンジしたい人はやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題 B を解く	

担当より一言

今回は「生物演習」を行いました。

まずは植物や昆虫の冬越しのすがたをおさえておきましょう。

対照実験では、まずは表を書いて条件の整理をしていきましょう。その後、条件を1つだけ変えて2つの実験を比べていくことで、発芽に何が必要なのかなどを見極めていきましょう。

光合成の実験では、実験手順を覚えましょう。そして、なぜその実験をするのか、理由とセットで覚え、記述できるようにしておきましょう。

植物のはたらきは、光合成、呼吸、蒸散の3つです。それぞれのはたらきは最低限覚えておくようにしましょう。

※第5回 G 模試の範囲は第30回～38回内容です。

**社会**

基本メニュー（☆☆☆）…必ずやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストで、「授業中に扱った演習問題」の復習用を解き直す	
② 宿題用テキストの基本問題 A・B を解く	
③ 週テストの見直し（間違えた問題の見直し）	

応用メニュー（☆☆）…基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題を解く	
② 宿題用テキストで、「授業中に扱っていない演習問題」を解く	

担当より一言

今回は、「水産業演習」を行いました。

水産業分野についての資料問題でした。36回でも書きましたが、とくに[2]の漁業別漁獲量のグラフは、入試でもよく出題されます。すぐにどの漁業のグラフか、なぜ減少したのかなど、言えるようにしましょう。

今回もさまざまな資料が出てきました。地図・グラフ・表です。改めて自分が解いた問題を見てください。資料に書き込みはありますか？

例えば[2]の漁業別漁獲量のグラフ。漁業を答える問題としてはAとCしかありませんが、やはりA～Dに書き込みをしてほしいです。Aのところに「沖」、Bのところに「遠」などで構いません。問2、問3と解き進めるにつれて書き込むのもよいでしょう。資料を完成させていくイメージを持ってほしいです。また、[3]の問3も見てください。ア～エの円グラフに、魚介類の名前が書き込まれていますか？今回、カニについて聞かれていますが、授業でカニの輸入先は出てきていません。すでに知っている魚介類のグラフを消していくことで正解にたどりつく問題でした。

地理分野ではとくに統計資料がよく出てきます。わかったことを書き込んでいく「くせ」を、今からつけるようにしましょう。入試では必要な力になっていきます。

教材の復習用に取り組む際には、とくに「書き込みながら解く」ということを意識しましょう。

※第5回G模試の範囲は第30回～38回内容です。